

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		企業立地関連促進事務		担当課	産業ブランド推進室	担当係	企業誘致推進係	管理番号	38312	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	都市計画法、農振法、農地法、土地区画整理法、借地借家法、深谷市総合計画、深谷市都市計画マスタープラン等				
	小項目	1	商工業の振興							
	主要プロジェクト									
事業概要		雇用創出及び自主財源の確保を目的として、工業団地の開発や産業拠点の整備などの企画立案及び進行管理を行うものである。令和5年度以降は花園IC拠点整備プロジェクトに関する事業契約や借地契約に基づく調整を実施するとともに、市内の産業団地適地の調査などを進めている。								
目的 ※何のために		雇用創出及び自主財源確保のため								
対象 ※誰・何を対象に		開発可能な一団の土地（花園IC周辺地域、交通便利性の高い地域など）								
手段 ※どのように		都市計画法や農振法などの土地利用に係る諸条件の調整を行う								
成果 ※何を求めるか		工業団地の開発及び産業拠点を整備								
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	産業拠点推進事業	238,912,353
本事業の 主な業務		・ 花園IC拠点整備プロジェクトの進行管理（H28～R4）					・ 産業団地の適地検討（R5～）			
		・ 民間ゾーンに係る契約調整（H28～R3）					・			
		・ 公共ゾーンに係る契約調整（H28～R3）					・			
		・ 地権者との契約調整（随時）					・			
		・ 各事業者との契約に基づく協議調整（R1～）					・			
		・ 地権者との契約に基づく調整、地代支払い（R1～）					・			

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		花園IC民間事業者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	
事業費	予算（現額）	0	289,730,000	239,306,000	244,196,000	240,489,000	
	決算額	0	288,046,938	238,603,939	238,912,353	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	288,046,938	238,603,939	238,912,353	240,489,000
人件費	従事職員数（人）	3.15	1.70	1.15	2.15	2.15	
	人件費相当試算※	24,789,105	13,617,281	9,455,578	18,225,753	18,938,251	
	総事業費試算	24,789,105	301,664,219	248,059,517	257,138,106	259,427,251	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値 実績値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	花園 I C 地権者説明会等の開催	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	1.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事業の進捗に合わせ、必要に応じて開催するため、数値目標は立てられない。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	花園 I C 地権者だよりの発行	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		6.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事業の進捗に合わせ、必要に応じて発行するため、数値目標は立てられない。						
	実績値の算出式								
活動指標 3	県等との関係機関の調整	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		6.00	5.00	5.00	7.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事業の進捗に合わせ、必要に応じて実施するため、数値目標は立てられない。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	開発候補地の選定件数	目標値	件	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事業の進捗に合わせた目標値の設定						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	花園IC拠点整備に関しては特に地権者説明会開催や地権者だより発行の必要がなかったため、いずれも実施しなかったが、業務は支障なく取り進めることができた。 産業拠点整備に係る、県や民間事業者等の関係機関との調整は必要に応じて実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和6年度からの継続案件として寄居SIC近接地区を対象に「産業集積拠点整備詳細調査」を実施し、令和6年度の調査結果の精査とより詳細な調査を実施することができた。
			評価者 室長補佐兼企業誘致推進係長 小暮 正樹

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	地代の支払いなど定例的な事務については、既に効率を考慮して事務を執行しているが、より正確で効率的な実施ができるよう継続して検討していく。
			評価者 室長補佐兼企業誘致推進係長 小暮 正樹